

SPIRA 多文化共生セミナー

アフガニスタンに命の水を

—中村哲医師・PMSと共に—



日程：7月30日（土）
時間：13:00～14:30
場所：佐賀商工ビル 7F
大会議室

定員：60名 ※要申込

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、
オンライン開催となる場合もあります。

講師 藤田 千代子氏

(PMS支援室室長)

初井 孝文氏

(PMS支援室 職員、佐賀県出身)

講師プロフィールは、裏面に記載しています。

WEB申込はこちら→
申込書は裏面にもあります



講座内容

パキスタンとアフガニスタンで、30年以上にわたって医療、用水路の建設や維持管理、農業の支援活動を続けているPMSを支えるNGO団体ペシャワール会のPMS支援室室長 藤田 千代子氏と、佐賀県出身のPMS支援室 初井 孝文氏を講師に迎え、故 中村 哲医師を近くで支え続けてきた歩みとアフガニスタンでの人道的支援及び現状についてお話しいたします。

パネル展開催

佐賀商工ビル1F 共用スペースにて、ペシャワール会の活動の様子などをパネル展示にてご紹介いたします。

期間：7月11日（月）～7月31日（日）

主催 (公財) 佐賀県国際交流協会 共催 JICA九州 (JICAデスク 佐賀)

お問い合わせ (公財) 佐賀県国際交流協会

TEL 0952-25-7921 MAIL info@spira.or.jp

お問い合わせ (公財) 佐賀県国際交流協会

TEL 0952-25-7921 MAIL info@spira.or.jp

主催 (公財) 佐賀県国際交流協会 共催 JICA九州 (JICAデスク 佐賀)



藤田 千代子 氏 (PMS支援室長)

鹿児島県出身。1989年、勤務先の福岡県春日市の病院でペシャワール会現地代表の中村哲医師の講演を聞き、当時中村医師が勤務していたパキスタン・ペシャワールのキリスト教系の病院で看護師として勤務することを申し出る。1994年、中村医師がPMS病院の前身となる病院で貧者のための診療を本格化させ、中村医師とともに働く。以降、一貫して医療を中心に中村医師の現地活動を支えた。1998年、日本の寄付でペシャワールに建てられた「PMS基地病院」では院長代理に。2009年、現地の治安状況悪化のため退避帰国し、現在、日本国内で現地活動を支援している。昨年、看護分野の国際的貢献者に贈られるフローレンス・ナイチンゲール記章を受章した。

初井 孝文 氏 (PMS支援室)

佐賀県出身。2017年6月、ペシャワール会PMS支援室にアフガニスタンへの派遣要員として入職。中村哲医師の活動地の治安改善を待ちながら、日本側でアフガニスタンのPMS職員と日々の連絡を取り合い、現地会計・連絡業務を共有し、現地活動を支える。アフガニスタンのPMS職員が技術研修のために来日する際は、研修の補佐を務めている。また、中村哲著書「アフガン・緑の大地計画」の編集も携わった他、写真展やDVD上映会など国内活動にも力を注ぐ。2018年9月まではJICA共同事業の窓口を担当し、現地での用水路建設がスムーズに進むように努めた。アフガニスタンの治安情勢が回復し次第、現地PMSと共に働く予定である。



【PMSについて】

PMS(Peace (Japan) Medical Services : 平和医療団・日本)は、故・中村哲医師が率いた現地事業体。医療団体だが、病気の背景に慢性の食糧不足と栄養失調があることから、干ばつで荒廃し砂漠化した農地の回復が急務だと判断。今なお進行する大干ばつの中、農地復旧に重きを置き、現在は医療事業、農業事業、灌漑事業を行い、訓練所でのPMS方式取水技術の普及活動に尽力している。

代表者のお名前 _____

講師の方へご質問

電話番号 (コロナ対策のため) _____

①お連れ様のお名前 _____

②お連れ様のお名前 _____

代表者のご所属 (以下よりお選びください)

- 行政関係者 医療従事者 民間国際交流団体
一般参加者 その他

その他確認事項にご同意いただきましたらにチェックをお願いいたします。
当日の体温が37.5度以上の方、風邪の症状がある方のご入場はいただけません。
商工ビル駐車場か唐人駐車場であれば、駐車券を配布いたします。



WEB申込はこちら↑